

下水汚泥資源の肥料利用の 拡大に向けた取組

国土交通省 水管理・国土保全局

上下水道企画課

令和8年1月



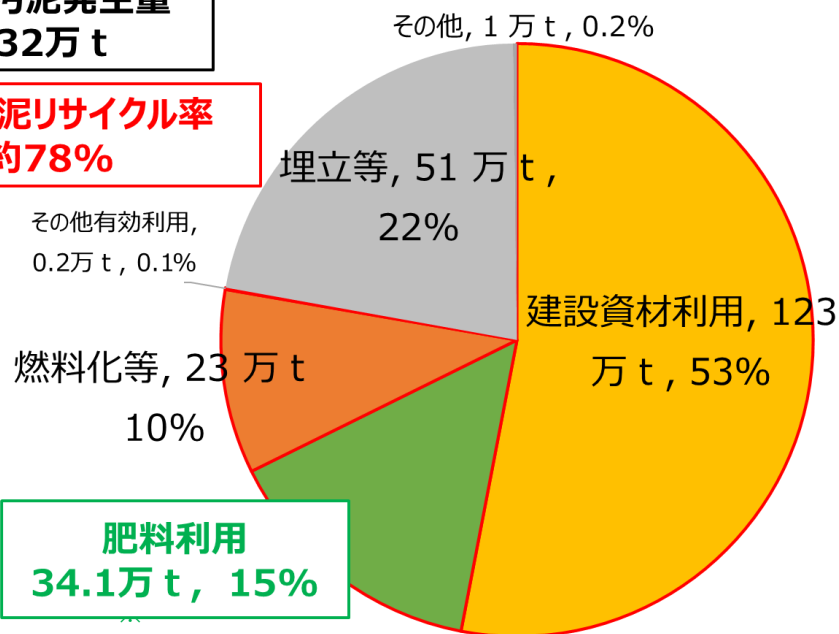
下水汚泥の利用状況(令和5年度実績)

- 下水の処理過程で発生する下水汚泥は、バイオマスとして高いポテンシャルを保有。
- 輸入依存度の高い肥料原料の価格が高騰する中、**食料安全保障の強化、サーキュラーエコノミーへの移行**等の観点から、農林水産省と緊密に連携し、国内資源である**下水汚泥の肥料化**を推進。
- 2030年度に下水汚泥肥料利用率を30%へ増加させることとしている（国土交通省環境行動計画 令和7年6月20日改定）

下水汚泥の利用状況（令和5年度）

年間汚泥発生量
232万 t

下水汚泥リサイクル率
約78%



※リン回収により肥料利用された汚泥は別途**1.7万 t**。
合計して**35.8万 t**（全体の**15.4%**）の汚泥が肥料利用されている状況。

下水汚泥由来の肥料

汚泥コンポスト
(供給量大)



乾燥汚泥
(供給量大)



回収リン



燃焼灰



他、脱水汚泥そのままや炭化汚泥、
熔融した汚泥スラグも肥料利用されている。

汚泥利用に関する取組推進への働きかけ

発生汚泥等の処理に関する基本的考え方について

(令和5年3月17日 国土交通省 下水道部長 通知)

「下水道管理者は今後、発生汚泥等の処理を行うに当たっては、肥料としての利用を最優先し、**最大限の利用を行うこと**」を基本方針として整理するとともに、下水道管理者に通知。

- 「
- 下水道管理者は今後、発生汚泥等の処理を行うに当たっては、肥料としての利用を最優先し、最大限の利用を行うこととする。
 - 焼却処理は汚泥の減量化の手段として有効であるが、コンポスト化や乾燥による肥料利用が困難な場合に限り選択することとし、焼却処理を行う場合も、焼却灰の肥料利用、汚泥処理過程でのリン回収等を検討する。」

下水汚泥資源の肥料利用に向けた活動推進について

(令和5年3月24日 国土交通省 下水道企画課長、農林水産省 環境バイオマス政策課長他 通知)

「各地方公共団体におかれても、地域特性に応じてコンポスト化、リン回収等、下水汚泥資源を肥料として最大限に利用するよう、**農政部局、下水道部局の緊密な連携体制を確保するとともに、安全性・品質の確保、農業者・消費者の理解促進等の取組を実施**していただきますようお願いします。」

令和7年度の取組内容

成分分析支援事業及び案件形成支援事業

- 令和5年度から、下水汚泥の肥料利用の拡大や新たに肥料利用を検討する下水道管理者に対して、
（1）汚泥の重金属や肥料成分の分析、（2）肥料の流通確保に向けた案件形成を支援。
- （1）の支援対象として延べ169処理場、（2）の支援対象として延べ37団体を支援。
- 令和7年度は（1）で49処理場、（2）で18団体を支援中（令和7年6月18日公表）。

（1）下水汚泥資源の肥料利用拡大に向けた重金属・肥料成分等の分析支援事業

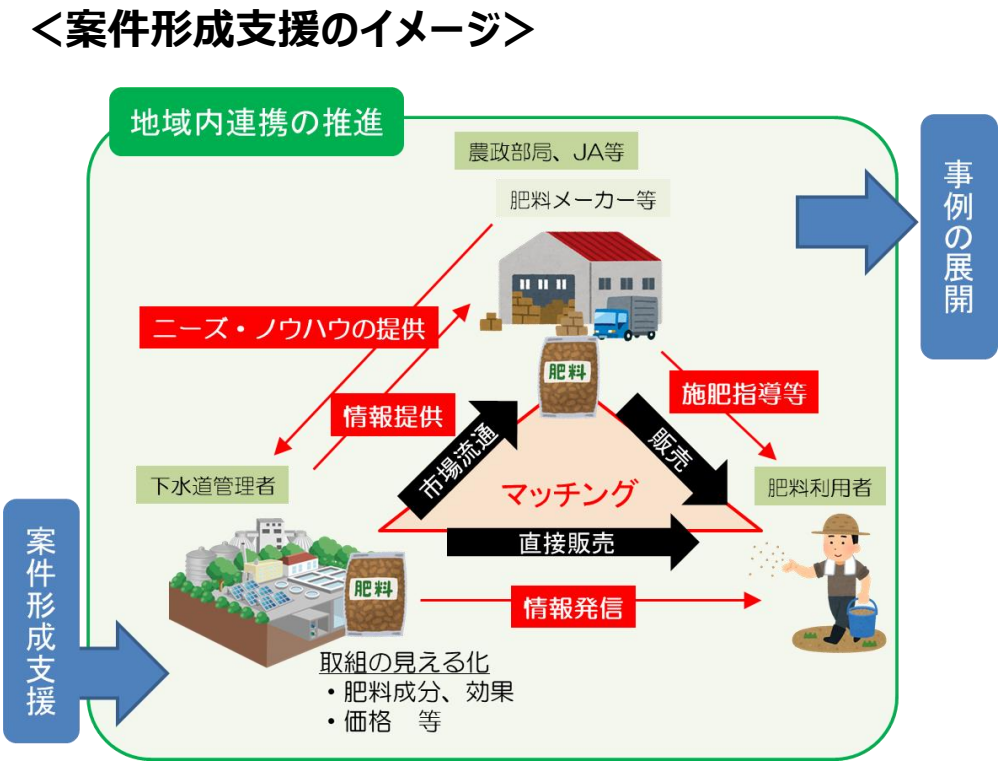
分析対象
◆ 脱水汚泥、焼却灰等

分析項目
重金属：カドミウム、鉛、クロム、砒素、水銀、ニッケル
肥料成分：窒素全量、りん酸全量、加里全量 等

分析回数
◆ 年4回程度（季節変動を考慮した分析を実施）

（2）下水汚泥資源の肥料利用を促進するための大規模案件形成支援事業

支援内容
◆ 支援対象となる下水道管理者が持つ課題とニーズに応じ、協議の上、農林水産省とも連携しながら、必要な調査や会議等の開催を支援。



下水汚泥資源の肥料利用を促進するための大規模案件形成支援事業

- 公募によって選定した下水道管理者（令和5年度：20団体、令和6年度：19団体、令和7年度：18団体）に対して、肥料の流通経路の確保に向けた案件形成支援を実施。
- 支援団体が行った検討については、他の自治体が参考としやすいよう事例集の形式にとりまとめ、公表。

https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000880.html

No.	R5年度	R6年度	R7年度
1	北海道 旭川市	北海道 旭川市	青森県 むつ市
2	秋田県	宮城県	宮城県
3	福島県 会津若松市	茨城県 北茨城市	茨城県 北茨城市
4	茨城県	群馬県 館林市	栃木県
5	埼玉県	千葉県 東金市	栃木県 宇都宮市
6	千葉県 木更津市	東京都 区部	千葉県 東金市
7	千葉県 千葉市	東京都 流域	神奈川県
8	東京都 区部	東京都 町田市	神奈川県 葉山町
9	東京都 流域	神奈川県 (相模川流域)	新潟県 佐渡市
10	神奈川県	神奈川県 (酒匂川流域)	長野県 小諸市
11	神奈川県 葉山町	新潟県 佐渡市	長野県 飯山市
12	新潟県 佐渡市	三重県	静岡県 富士市
13	京都府 宇治市	大阪府	静岡県 磐田市
14	兵庫県 神戸市	兵庫県 明石市	滋賀県
15	兵庫県 明石市	岡山県 勝央市	滋賀県 甲賀市
16	岡山県 勝央市	徳島県	大阪府
17	高知県	福岡県 北九州市	兵庫県 豊岡市
18	福岡県 北九州市	熊本県 山鹿市	大分県 大分市
19	佐賀県 鹿島市	熊本県 苓北町	
20	大分県 大分市		

■ : 単年支援
■ : 2年支援
■ : 3年支援

支援の流れ

下水道管理者が持つ課題とニーズに応じ、流通経路の確保に向けた必要な調査や会議の開催を支援。

<検討イメージ(例)> 採択

初回協議・基礎調査

- 関係部局における下水汚泥の利用に関する方針・計画の確認
- 農政部局、農業関係者等へのヒアリングおよび関係者協議

第2・3回会議

- 下水汚泥の肥料利用に関する方針、需要等調査結果の共有
- JA等、農業サイドの関係者も交えた意見交換等
- 今後の取組、スケジュールの整理、ロードマップ案の作成

全支援団体の状況報告等を行う全体会議

下水汚泥資源の肥料利用拡大に向けた取組を実施



農政部局等との関係者協議



肥料利用者を招いた処理場見学

下水汚泥資源の肥料利用を促進するための大規模案件形成支援事業

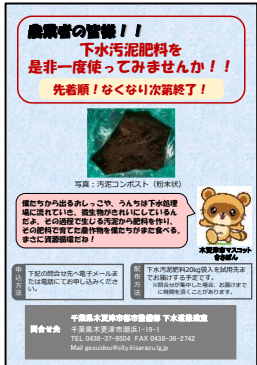
- 肥料の流通経路の確保に向けた案件形成を希望する下水道管理者に対して、課題解決に向けた検討を支援。
- 令和5年度は20団体、令和6年度は19団体の支援を実施し、令和7年度は18団体を支援中。
- 支援団体が行った検討については、他の自治体が参考としやすいよう事例集の形式にとりまとめ、公表。
https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000880.html

検討事例

◆ 木更津市(令和5年度支援)

- ✓ モニター募集ポスター・利用者アンケートの作成
 - ✓ マッチングした農業者の圃場にて、試験栽培
- ⇒ **コンポスト化施設を整備中**
(令和9年4月稼働予定)

製造した肥料は
10年以内に市内
及び近隣地域での
流通量100%を
目指す。



➢ モニター募集ポスター (案)

◆ 旭川市(令和5, 6年度支援)

- ✓ 自治体内の関係部局との連携体制を構築
 - ✓ 農業関係者へのヒアリングと意見交換会の開催
 - ✓ 下水汚泥コンポストを試作
- ⇒ **農業関係者と連携した試験栽培を予定**



➢ 道農政部・ホクレン・農試との意見交換会

◆ 神奈川県(令和5, 6, 7年度支援)

- ✓ 「下水汚泥肥料化検討会」の設置
 - ✓ 農業者や農政部局、JA等との勉強会等を実施
 - ✓ 下水汚泥コンポストを試作
- ⇒ **県の試験場で試験栽培を予定**



➢ 地元農家等に向けた汚泥肥料に関する勉強会



➢ コンポスト化施設整備予定図



➢ 近隣市町村の堆肥化施設見学



➢ 肥料試作機見学の様子

● 国土交通省にて、公募により成分分析支援を行っており、令和5年度～7年度に支援を行った（行っている）団体は以下のとおり。

地方	都道府県	参加団体名	地方	都道府県	参加団体名
北海道	北海道	旭川市 、恵庭市、函館市、深川市、 紋別市 、岩内町	中国	鳥取県	琴浦町、 米子市
	青森県	青森県、 八戸市		島根県	島根県
東北	岩手県	岩手県		岡山県	勝央町 、玉野市
	秋田県	秋田県 、にかほ市、由利本荘市		広島県	広島県、 広島市
	宮城県	宮城県 、仙台市		山口県	宇部市 、下関市
	福島県	福島県	四国	徳島県	徳島県
関東	茨城県	茨城県 、 北茨城市 、水戸市、守谷市		香川県	香川県 、高松市
	栃木県	栃木県 、 栃木県及び21市町 、足利市		愛媛県	新居浜市、西条市
	群馬県	群馬県、 館林市		高知県	高知県 、四万十市
	埼玉県	埼玉県 、秩父市	九州	福岡県	北九州市 、久留米市、豊前市
	千葉県	千葉県 、 大網白里市 、市川市、 千葉市 、 東金市 、習志野市、船橋市		大分県	大分市
	東京都	東京都、東京都区部、 町田市		佐賀県	鹿島市
	神奈川県	神奈川県 、 綾瀬市 、 川崎市 、逗子市、秦野市、横浜市、 鎌倉市 、 藤沢市 、 葉山町		長崎県	佐世保市
	長野県	長野県 、駒ヶ根市、 飯山市 、 小諸市		熊本県	玉名市、 山鹿市 、 苓北町
北陸	新潟県	新潟県 、 佐渡市 、十日町市		鹿児島県	枕崎市
	富山県	高岡市	R5・6・7年度 下水汚泥の重金属・肥料成分の成分分析調査概要		
	岐阜県	岐阜市 、瑞穂市、多治見市	種別	脱水汚泥等	燃焼灰
中部	静岡県	静岡市、袋井市、 磐田市 、 伊東市 、吉田町	採取頻度	年4回程度	
	愛知県	名古屋市	分析方法	「肥料等試験法」〔※ 独立行政法人農林水産消費安全技術センター〕	
	福井県	福井市	分析項目	肥料成分	<input type="checkbox"/> 窒素全量(N)、 <input type="checkbox"/> リン酸全量(P ₂ O ₅)、 <input type="checkbox"/> 加里全量(K ₂ O)、 <input type="checkbox"/> 可溶性りん酸(P ₂ O ₅)※R5年度は燃焼灰のみ分析
近畿	三重県	三重県		重金属	<input type="checkbox"/> 砒素(As)、 <input type="checkbox"/> カドミウム(Cd)、 <input type="checkbox"/> ニッケル(Ni)、 <input type="checkbox"/> クロム(Cr)、 <input type="checkbox"/> 水銀(Hg)、 <input type="checkbox"/> 鉛(Pb)
	滋賀県	滋賀県 、 甲賀市	3年度累計(延べ):148団体(43都道府県、105市町村、169処理場) うち令和5年度: 83団体(21都道府県、62市町村、84処理場) うち令和6年度: 29団体(11都道府県、18市町村、36処理場) うち令和7年度: 36団体(11都道府県、25市町村、49処理場)		
	京都府	京都府 、 宇治市 、木津川市、京都市、舞鶴市			
	大阪府	大阪府 、河内長野市、豊中市、 吹田市			
	兵庫県	兵庫県、 明石市			
	奈良県	奈良県			

※太字下線は複数年度の分析支援団体
※は令和7年度分析支援団体、赤字は案件形成支援も実施。

令和6年度の分析結果:重金属最大含有量(脱水汚泥等)

- 令和6年度事業における分析結果について、令和7年6月にHPで公表。
(https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000882.html)
- 重金属については、全調査処理場のいずれの季節の分析においても、「肥料の品質の確保等に関する法律」に定める基準値以下であることを確認。

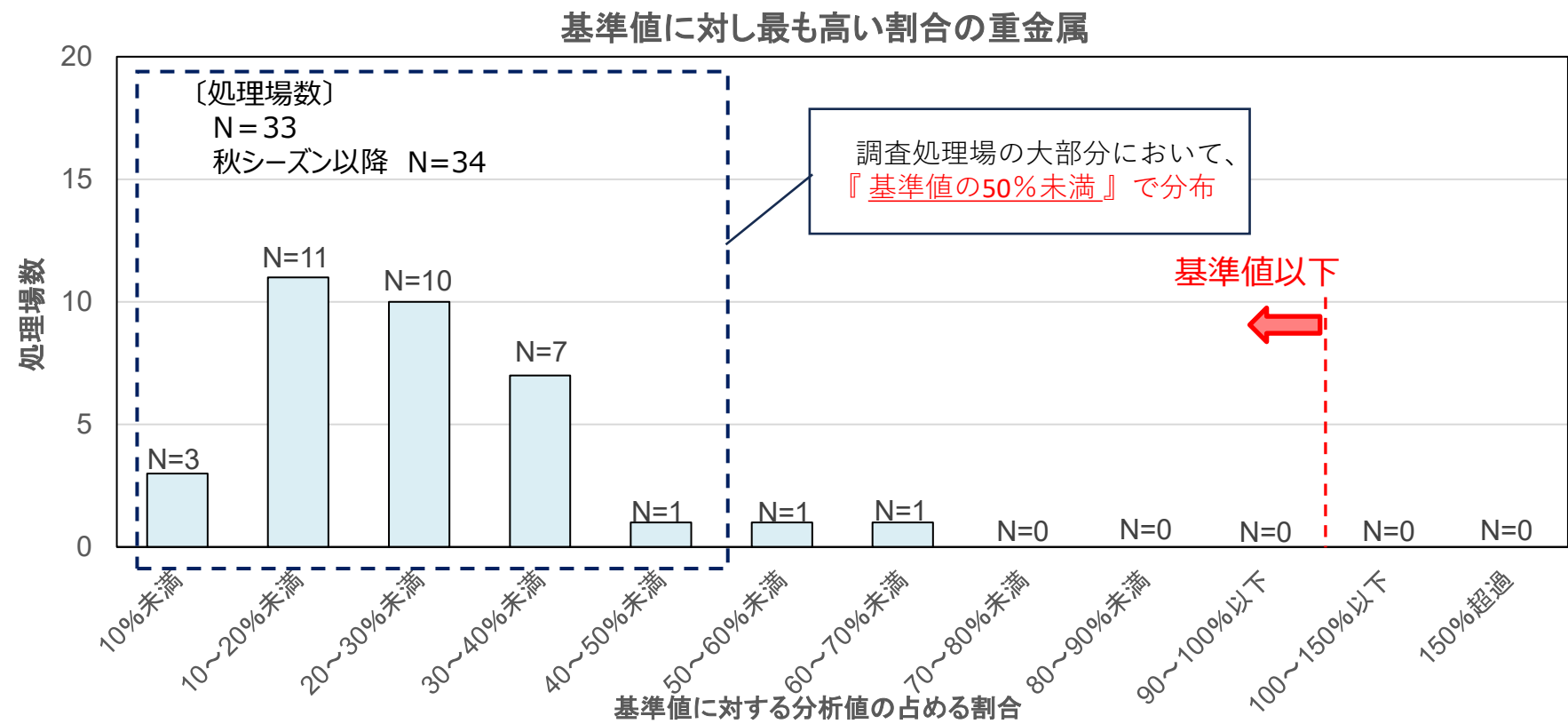


図5 調査処理場における季節別重金属最大含有量（乾物当たり）

※ **基準値**：「肥料の品質の確保等に関する法律」に定める含有を許される有害成分の最大量。

※ 上図が示す重金属含有量〔%〕については、FAMICの定める「肥料等試験法」により試料中の水分を同時に測定し、分析して得られた重金属含有量〔現物値〕を乾燥試料中の含有量に換算（乾物換算）している。換算式は以下のとおり。

乾物当たりの分析値〔%〕 = 試料の分析値（現物値） × 100 / 〔100 - 試料の水分含有率（%）〕

※ 検体数については、春～夏シーズン33検体、秋～冬シーズン34検体の合計134検体。

●汚泥肥料中の有害成分（重金属）含有量の基準値（肥料の品質の確保等に関する法律）

有害成分項目	砒素	カドミウム	ニッケル	クロム	水銀	鉛
含有を許される有害成分の最大量（%）	0.005	0.0005	0.03	0.05	0.0002	0.01
含有を許される有害成分の最大量（mg/kg）	50	5	300	500	2	100


公園や緑地等における下水汚泥肥料の活用に向けたパンフレットの公表

- 脱炭素化、サーキュラーエコノミーへの移行を促進する観点から、下水汚泥肥料について、農作物の他に、花き類や芝など、多様な用途での利用拡大を図る。
- 特に、公園や緑地等における利用拡大に向けては、利用のきっかけになるパンフレットとして「**GARDEN 下水道-公園や緑地等における下水汚泥肥料の活用に向けて-**」を公表(令和7年4月)。
https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewage/mizukokudo_sewage_tk_001004.html

◆ 下水汚泥肥料の種類、特徴等

下水汚泥が生産される過程や、下水汚泥肥料の形態、肥料成分、安全性、他の肥料と比較した際のコスト面でのメリット等について解説。

下水汚泥肥料



◆ 下水汚泥肥料の利用例

公園の花壇



ゴルフ場

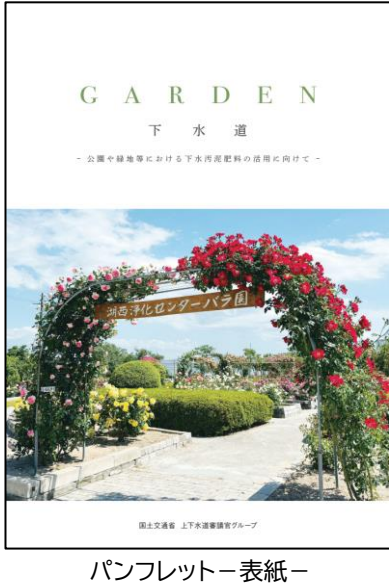


法面の緑化



ひまわり畑





◆ 下水汚泥肥料を使用したユーザーの声



汚泥肥料あり



汚泥肥料なし

ビオラの生育状況の比較

近隣の浄化センターが無償で汚泥肥料を提供していると知ったことが利用のきっかけです。同じ条件下で肥料効果を比較したところ、汚泥肥料を施肥した花壇の方が花の生育が良くなりました。(公園の管理者から)

下水汚泥焼灰の肥料利用の推進

- 下水汚泥由来の肥料について、公定規格「**菌体りん酸肥料**」（令和5年10月）に登録することで、他の肥料原料と配合することが可能となった。特に、肥料成分の中でも**リン酸が豊富な下水汚泥焼灰**については、今後、配合肥料等の原料として利用拡大が期待される。
- 下水道管理者の**焼灰の肥料利用に関する参考となるよう**「[下水汚泥資源の肥料利用に関する検討手順書（案）](#)」を改訂予定。

➤ 肥料成分（平均値）

	下水汚泥	焼灰
窒素(N)	6.5%	0.05%
りん酸全量 (P_2O_5)	4.5%	27%
く溶性りん酸 (P_2O_5)	(未測定)	11%
カリウム (K_2O)	0.3%	1.6%

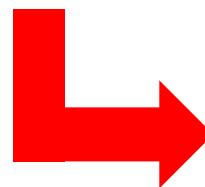
※調査した下水処理場は、

- ・下水汚泥について、77処理場
- ・焼灰について、りん酸全量、カリウム、窒素：36処理場
く溶性りん酸：33処理場

出典：令和5年度成分分析支援事業
[下水汚泥資源の重金属・肥料成分分析](#)



下水汚泥の焼却炉（埼玉県）



- 肥料登録された焼灰（菌体りん酸肥料）を原料とした普通肥料

汚泥処理プロセスからのリン回収に関する実証事業(B-DASH※)

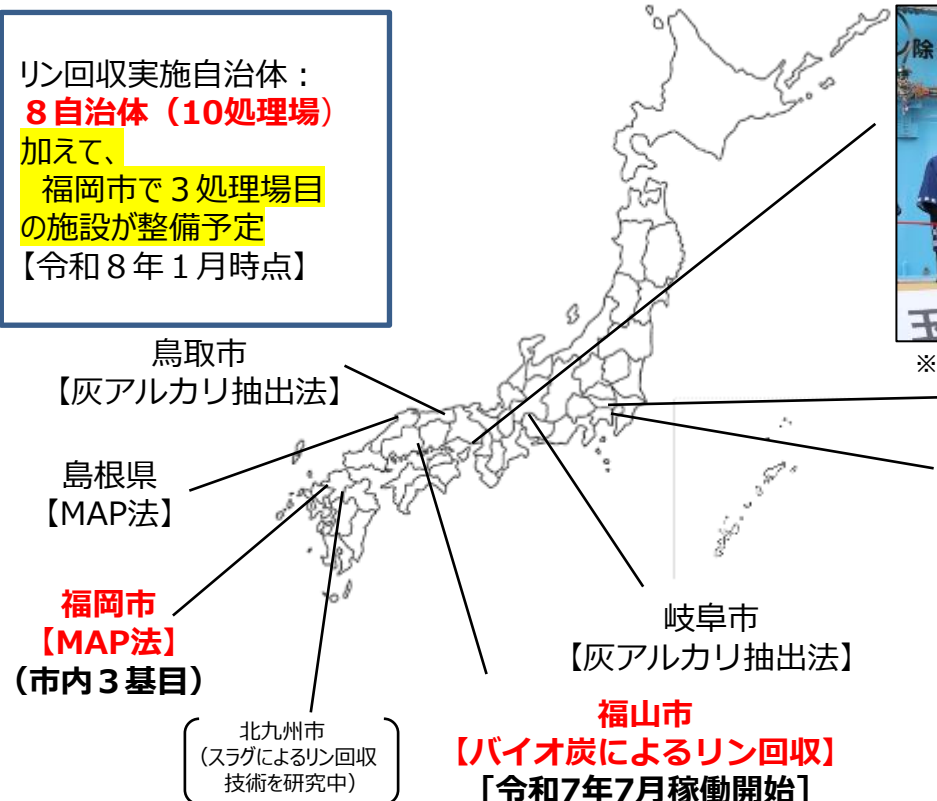
- 下水道における革新的な技術について、国が主体となって、地方公共団体のフィールドに実規模レベルの施設を設置して技術的な検証を行い、ガイドラインを作成・公表し、全国展開を図るため、平成23年度よりB-DASHを実施している。
- 汚泥処理プロセスからのリン回収に関する実証事業（B-DASH）として、地方公共団体の下水道施設において、国が主体となって、リン回収に関する実規模レベルの施設を設置。
- 公募により**5自治体における事業**を採択し、**リン回収のコスト縮減や品質向上に向けた技術開発を推進**。

※令和7年度事業からは、水道革新的技術（A-JUMP技術）と下水道革新的技術（B-DASH技術）を横断（Cross）する上下水道一体の技術実証事業として推進

◆リン回収の実施箇所

（赤字がB-DASHによる技術実証中）

リン回収実施自治体：
8自治体（10処理場）
加えて、
福岡市で3処理場目の施設が整備予定
【令和8年1月時点】



神戸市【MAP法】¹⁾（市内2基目）
[令和7年4月稼働開始]



※神戸市 公式noteより

東京都【CSH法】²⁾
[令和6年1月稼働開始]



※東京都 資料より

横浜市【MAP法】
[令和6年3月稼働開始]



※横浜市 市長定例記者会見（令和5年7月21日）資料より

※1：リン酸マグネシウムアンモニウム（Magnesium Ammonium Phosphate）法
※2：ケイ酸カルシウム水和物（Calcium Silicate Hydrate）法

下水汚泥資源の肥料利用に関する補助支援(令和6年度創設)

下水汚泥肥料化推進事業

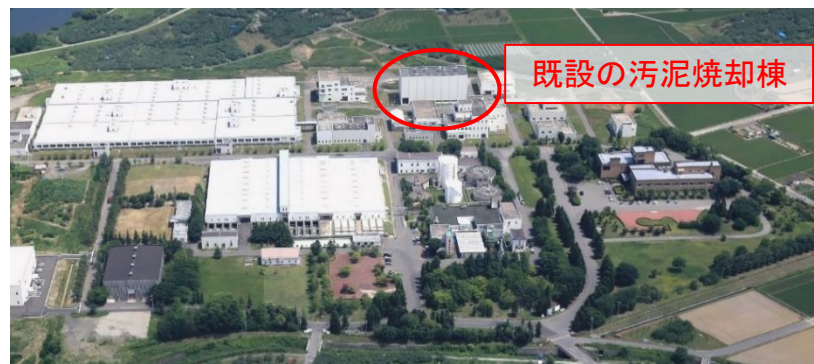
○肥料化施設の整備を集中的に支援

- 自治体が下水汚泥資源を肥料化するための施設整備(コンポスト化施設やリサイクル回収施設等)に対して集中的に支援。

※自治体経費の一部を助成する場合、民間事業者が実施する肥料化の関連設備(ペレット化、成分調整等)について間接補助。

例：岩木川浄化センター（青森県）

焼却炉を肥料化施設へ更新



汚泥資源肥料利用推進事業

○導入検討支援

- 汚泥資源の肥料利用を推進するため、肥料成分や重金属の分析調査、計画 策定、分析機器の導入経費を定額補助。

例：コンポストペレット化実証事業（鶴岡市）

コンポストの性状・形状成分に応じたペレット製品化のために必要な調査等を実施し低コストなペレット化技術の検証及び事業化の検討を図る。

その他の支援対象団体（令和6,7年度）

宮城県、秋田県、茨城県北茨城市、栃木県、宇都宮市、埼玉県、神奈川県、新潟県十日町市、長野県、滋賀県、兵庫県、岡山県勝央町、山口県岩国市、長崎市、大分県日田市

- 下水道資源※を有効利用して創られた農作物などの愛称を「じゅんかん育ち」とし普及してきた
- 令和 7 年 6 月には日本下水道協会が「じゅんかん育ち」の商標の登録と使用規約を策定
- 当該商標について使用を希望される方は、使用規約に基づく手続きを行うことにより無償で使用可能

※下水道資源は以下のいずれかに該当するものを指す。

- ① 下水処理により発生する下水汚泥、再生水（処理水）、二酸化炭素及び熱
- ② 下水と外気温の温度差エネルギー（以下「下水熱」という）

↓下水道協会作成パンフレット



参考

全国で広がる下水汚泥資源の肥料利用の取組 (1/2)

黄色マーカーが肥料名

秋田県 【コンポスト化】 「横手処理センター」

4市2町の汚泥を広域資源化（令和7年4月より稼働開始）



旭川市【肥料の試作】 「旭川市下水処理センター」

令和7年度に施肥試験を実施する方針

青森県【コンポスト化】 「岩木川浄化センター」

汚泥焼却炉を肥料化施設へ更新（令和8年度より運営開始予定）

既設の汚泥焼却棟



鶴岡市 【コンポスト化】「鶴岡浄化センター」

設備更新により令和9年度より増産予定

新潟県 【乾燥汚泥】「新潟浄化センター」

乾燥汚泥について、「菌体りん酸肥料」として登録（令和7年3月）
「越肥の輪にいがた」

藤沢市【焼灰】 「辻堂浄化センター」

汚泥焼灰を菌体りん酸肥料として登録し、日本大学と「植物生育に対する下水汚泥焼灰の有効性・可能性の評価」に関する共同研究を開始。
「循環肥料ふじまる」

気仙沼市【炭化物】 「気仙沼終末処理場」

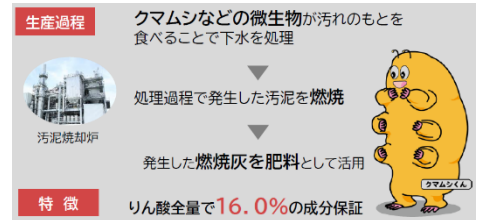
令和5年度B-DASHにより施設整備（令和6年3月稼働開始）

茨城県【コンポスト化】 「さしまアクアステーション」

令和6年度より肥料化施設の稼働を開始。

埼玉県【焼灰】 「荒川水循環センター」

汚泥焼灰を肥料登録
「荒川クマムシくん1号」



※令和6年4月30日知事記者会見資料

横浜市【リン回収】 「北部汚泥資源化センター」

令和4年度補正B-DASHにより施設整備（令和6年3月稼働開始）
「よこはまMAP1号」



再生リンPRロゴマーク
「はま巡リン」

※横浜市資料

木更津市【コンポスト化】 「木更津下水処理場」

堆肥化施設整備事業が開始（令和9年度運営開始予定）

東京都【リン回収】 「砂町水再生センター」

令和4年度補正B-DASHにより施設整備（令和6年1月稼働開始）
リン回収施設と回収リン



※東京都資料

島根県【コンポスト化】

≪宍道湖西部浄化センター≫

令和5年度B-DASHにより施設整備
縦型密閉発酵槽により作成した肥料を
令和7年7月に肥料登録。
[しんじ湖ゆうき WEST]

京都府【乾燥汚泥】

≪洛南浄化センター≫

乾燥汚泥について、近畿地方で初めて「菌体
りん酸肥料」として登録（令和6年12月）
[洛南エコガーデン]

長野県【脱水汚泥】

≪アクアピア安曇野≫

脱水汚泥を肥料登録。
南安曇農業高校と連携し
て効果検証試験を実施中。
[アクアピア1号]



➢ 下水汚泥肥料化検討事業に
係る協定の締結

福山市【リン回収】

≪松永浄化センター≫

令和5年度補正B-DASHにより
施設整備（令和7年7月稼
働開始）

神戸市【リン回収】

≪玉津処理場≫

神戸市2基目となるリン
回収施設を令和4
年度補正B-DASHに
より整備。（令和7
年4月稼働開始）



玉津処理場リン回収設備 完成記念式
※神戸市公式noteより

北九州市【乾燥汚泥等】

≪日明浄化センター≫

固形燃料化物（乾燥汚泥）
を菌体りん酸肥料に登録（令
和6年9月）。

[OH! DAY! 北九州]

また、脱水分離液中に含まれ
るリンを鉄鋼スラグを用いて回収
する手法を検討中。



➢ 汚泥燃料化センター

新居浜市、西条市等
【外部委託による肥料拡大】

滋賀県【コンポスト化】

≪高島浄化センター≫

施設が完成し、令和
6年6月より肥料の
一般販売開始。
[おうみっ肥]



名古屋市【乾燥汚泥】

≪空見スラッジリサイクルセンター≫

固形燃料化物（乾燥
汚泥）を全国で初めて
菌体りん酸肥料に登録。
（令和6年7月）
[循かん大なごん]



大分市【乾燥汚泥】

≪大在水資源再生センター≫

汚泥の固形燃料化施設が
完成（令和6年9月）。
固形燃料化物の一部の肥
料利用を検討。

熊本市【乾燥汚泥】

≪南部浄化センター≫

乾燥汚泥を肥料登録し（令
和6年4月）、庁内で利用・
PR。 [肥ごのじゅんかん肥]

鹿児島市【コンポスト化】

≪下水汚泥堆肥化場≫

菌体りん酸肥料に登録し、販売開
始（令和6年11月）。
[マグマソイル]

福岡市【リン回収】

≪西部水処理センター≫

福岡市3基目となるリン回収施設を
令和6年度B-DASHにより整備中。

下水汚泥資源の肥料利用に関する参考資料

国土交通省

- ◆ 下水汚泥資源の肥料利用に関する検討手順書(案)
https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000860.html (令和6年3月14日)
- ◆ 下水汚泥資源の肥料利用に関する検討事例集
https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000880.html (令和7年3月28日更新)
- ◆ 下水汚泥資源の肥料利用関連 支援概要一覧
<https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/content/001738915.pdf> (令和7年4月末時点版)
- ◆ 下水汚泥の肥料利用拡大に向けた成分分析調査結果
https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000882.html (令和7年6月30日)
- ◆ GARDEN 下水道-公園や緑地等における下水汚泥肥料の活用に向けて-
https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_001004.html (令和7年4月24日)
- ◆ 下水汚泥肥料を入手可能な下水処理場の一覧
https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/gesui_hiryou.html (令和7年4月時点版)
- ◆ B-DASH技術情報資料
<https://www.nilim.go.jp/lab/eag/bdash/bdash.html#gesuiodei> (順次更新)

農林水産省

- ◆ 菌体りん酸肥料の解説
https://www.maff.go.jp/j/syouan/nouan/kome/k_hiryo/kintairinsan.html (令和5年10月2日)
- ◆ 国内資源由来肥料の活用事例集
https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_hiryo/kokunaishigen/zenkokukyougikai/information/zireimap_sewagesludge.html (順次更新)

日本下水道協会

- ◆ 計画策定に向けた解説書等
<https://www.jswa.jp/gx/gx-flow/> (令和6年12月)
- ◆ 肥料利用事例リスト、取組の先進事例
<https://www.jswa.jp/gx/gx-example/> (令和7年6月)
- ◆ 下水道GX推進に向けた支援一覧
<https://www.jswa.jp/gx/gx-support/> (令和6年6月)